

流通業務団地整備事業経営健全化計画の平成 2 2 年度実施状況

1 具体的な措置の実施状況

既進出企業による定期借地面積の拡大（約 5,600 平方メートル）により、団地利用率が約 79.6 パーセントに増加した。

また、平成 22 年 3 月 31 日に策定した流通業務団地整備事業経営健全化計画に基づき、資金不足解消のために一般会計から 1 億円の繰入れをした。

2 歳入及び歳出に関する計画の実施状況

（単位：千円）

	平成 2 1 年度 （第 1 年度）	平成 2 2 年度 （第 2 年度）
収 入	22,379	122,500
土地売却収入	0	0
借地収入等	22,379	22,500
繰入金	0	100,000
支 出	88,606	14,222
分譲事業費	2,592	2,811
支払利息	12,014	11,411
起債償還元金	74,000	0
単年度収支	66,227	108,278
次年度繰上充用額	3,972,112	3,863,834

3 資金不足比率の状況

	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
資金不足比率	60.6%	67.5%

4 今後の公営企業の経営方針

流通団地の規制緩和を始め、分譲価格の引下げの検討、事業用定期借地区画の拡大等により企業進出の促進を図る

資金不足の解消に向けて、一般会計から繰入れを行う。